



株式会社ペイロール

2023 年度第 2 四半期決算説明会

2023 年 11 月 20 日

イベント概要

[企業名]	株式会社ペイロール		
[企業 ID]	4489		
[イベント言語]	JPN		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2023 年度第 2 四半期決算説明会		
[決算期]	2024 年度 第 2 四半期		
[日程]	2023 年 11 月 20 日		
[ページ数]	22		
[時間]	16:00 – 16:36 (合計：20 分、登壇：16 分、質疑応答：36 分)		
[開催場所]	インターネット配信		
[会場面積]			
[出席人数]			
[登壇者]	2 名		
	代表取締役社長	湯浅 哲哉 (以下、湯浅)	
	取締役	影山 貴裕 (以下、影山)	

サポート

日本	050-5212-7790	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

登壇

司会：お待たせいたしました。これより株式会社ペイロール、2024年3月期第2四半期決算説明会を開催いたします。本日はお忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。本説明会は会場開催だけでなく、ウェブで同時配信しております。あらかじめご了承ください。

はじめに、本日の出席者をご紹介します。代表取締役社長、湯浅哲哉様でございます。取締役、影山貴裕様でございます。よろしくお願いいたします。

本日の進行ですが、湯浅社長よりご説明いただいた後、質疑応答へと移ります。

それでは、説明会を開始いたします。湯浅社長、よろしくお願いいたします。

目次

PAYROLL

1	2024年3月期 第2四半期 実績	P3 ~ P12
2	2024年3月期 下期事業展開	P13 ~ P17
3	2024年3月期 通期業績予想	P18 ~ P19
4	2024年3月期 株主還元	P20 ~ P21
	Appendix	P22 ~ P23

Copyright 2023 Payroll Inc. All Rights Reserved | 2

湯浅：株式会社ペイロールの湯浅でございます。本日は当社の2024年3月期第2四半期決算説明会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

本日の説明でございますが、第2四半期の業績概要と下期の展開、通期予想をご説明した上で、最後に株主還元に関してご説明させていただく予定で進めさせていただきます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



第2四半期累計期間 連結業績ハイライト

PAYROLL

売上収益

前年同期比
+10.5%

Page 5

営業利益

前年同期比
+3.5%

Page 5

新規受注ARR

2.1億円

Page 7

新規稼働ARR

3.7億円

Page 8

受注残ARR

5.2億円

Page 9

チャーンレート (月平均解約率)

0.13%

Page 10

Copyright 2023 Payroll Inc. All Rights Reserved | 4

早速ですが、2024年3月期第2四半期の実績についてご説明申し上げます。

業績はご覧のとおりでございます。ご注目いただくのは、売上収益が昨対で10.5%のアップである点でございます。以下、詳細をご説明申し上げます。

第2四半期累計期間 連結業績概要

PAYROLL

売上収益・営業利益ともに堅調な進捗

(百万円、%)

売上収益、営業利益ともに
堅調な進捗

売上収益 42.3億円
前年同期比 +10.5%
営業利益 5.2億円
前年同期比 +3.5%

	2024年3月期 第2四半期累計期間		2023年3月期 第2四半期累計期間		増減 対 前年同期比	
	実績	%	実績	%	増減額	%
売上収益	4,203	100.0	3,803	100.0	+399	+10.5
売上原価	3,027	72.0	2,701	71.0	+325	+12.0
売上総利益	1,175	28.0	1,101	29.0	+74	+6.8
販管費及び一般管理費	677	16.1	624	16.4	+53	+8.6
営業利益	524	12.5	507	13.3	+17	+3.5
税引前利益	507	12.1	479	12.6	+27	+5.8
当期利益	351	8.4	329	8.7	+22	+6.8

Copyright 2023 Payroll Inc. All Rights Reserved | 5

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

まず全体の数値的な面でございますが、半期累計の期間業績の前年同期比較でございます。売上収益は 10.5%、営業利益は 3.5%と推移しております。売上収益は顧客の新規稼働により、前年同期と比べて増加しております。

利益面では累計では増益ですが、第 2 クォーター単体では、年末調整は来期に向けたシステムの増強によって製造利益率が低下しておりますが、当社の事業モデルが下期偏重であることから、下期のプラス要素になってございます。簡単に言いますと、去年の下期からシステム増強を続けておりますので、去年の第 2 クォーターと今年の第 2 クォーターと比較すると、システム増強分だけ今期のほうが悪く見えるということでございますが、通期で見るときっちりキャッチアップできる内容でございます。

当期利益は売上収益、営業利益が堅調に進捗していることもございまして、前年同期比で増加しております。

第2四半期累計期間 トピックス

PAYROLL

2024年3月期 第2四半期累計期間トピックス

- オンデマンドペイ「e-pay sugumo」の提供準備
2024年春のサービス開始に向け、GMOペイメントゲートウェイ株式会社（証券コード3769 東証プライム）と基本合意を締結
- 顧客の柔軟な給与計算業務サービス導入を可能とする「BPaaS 1.0」の販売開始
これまでのエンタープライズ企業に加え、SMB企業へのサービス拡大を図り、上期で4社から受託
- 企業価値の向上につなげる人的資本レポート「e-pay HR KPI」有償サービスを開始し、上期で約80社から受託
- 株式会社セブン-イレブン・ジャパンのフルスコープ型給与計算アウトソーシングサービスの稼働

エンタープライズ企業：従業員1,000人以上の大規模企業
SMB企業：従業員100～1,000人未満の企業

Copyright 2023 Payroll Inc. All Rights Reserved | 6

次に期間中、上期のトピックスでございますが、一つは以前よりご説明申し上げておりましたオンデマンドペイの展開についてでございます。

具体的に e-pay sugumo という、すぐもらえるの略だそうですが、e-pay sugumo という商品名で展開すべく、2024 年春のサービス開始に向けて GMO ペイメントゲートウェイ社と基本合意を締結いたしました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

給与のデジタル払とは直接関係しないのでございますけれども、かなり期待していらっしゃるお客様がいるということで、4月以降の展開を楽しみにしております。

それからもう一つはエンタープライズ企業向けが中心だったビジネスを、今後は中小企業のSMB企業へのビジネス展開を目指すBPaaS 1.0を今年の3月から販売を開始しております。

上期で4社受託しています。少し想定よりも多くないというイメージを、私自身も持っております。マーケットに出てみて分かったことがございまして、私どものような割とハイクオリティなサービスを必要とする1,000名以下、数百名規模の会社と全く必要としない会社と、かなり色がはっきり分かれております。

私どもが上期に受注した4社は、やはり大手の企業の子会社で、ガバナンスやコンプライアンス、あるいはBCP対策をきちんとやらなければいけない。そういう認識のある会社さん。もしくは特定の社員の方が給与計算を何十年もブラックボックスで運用していて、今回のパンデミックみたいなことがあると給与が止まってしまうリスクがある。こういうことを考えていらっしゃる会社さんは、私どもを非常に評価いただいて受注できてきているような傾向がございます。

私どもは、これから特にそういった点を評価基準に置いてお客様に訴求しながら、営業をさらに展開していこうと考えてございます。

それから、次にESG投資やSDGsの関心の高まりから、顧客企業は当社が管理する人的資本情報や統計情報をe-pay HR KPIで必要としておりまして、本年8月から有償サービスを開始いたしました。上期で約80社を受託いたしました。このサービスはこれから私どもが機能強化するたびに、これはサービスとしては使っていただくと、1回使うといくらという課金形態になりますので、私たちは使っていただけるような機能強化をこれからどんどん進めていくことになろうかと思えます。

それから発表しておりますが、セブン-イレブンのフルスコープ型の給与計算が、遅滞なく稼動いたしました。おおよそ8,000人ぐらいの会社さんでございまして、かなり順調に稼動させていただいております。私どもが今回受託しているのは8,000人ですので、セブン-イレブンさんの正社員だけでございまして、私どもはこの後、パート、アルバイトさん、いわゆるクルーの皆さん、35万人ぐらいいらっしゃるんですけども、そこを受託すべく頑張ってお営業していこうという意気込みでいる状況でございます。

サポート

日本	050-5212-7790	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com



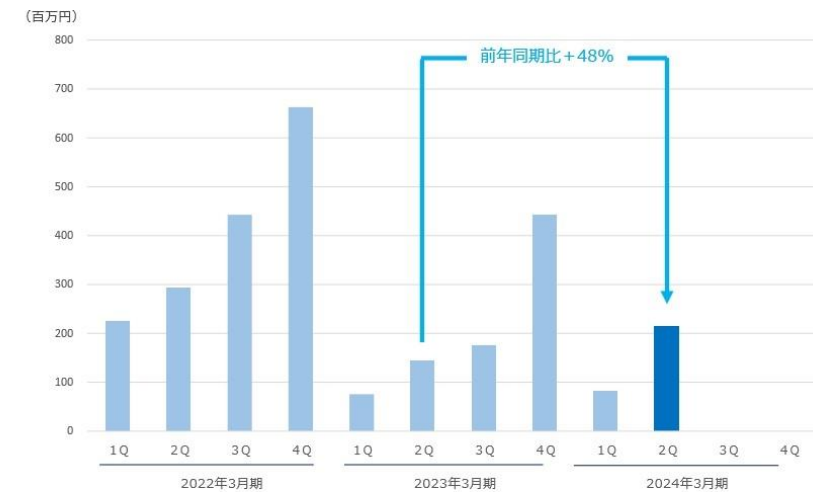
新規受注ARR

新規受注ARR 2.1億円
前年同期比 +48%

受注環境に変化はなく、今後も
受注拡大に向け注力する

PAYROLL

新規受注ARR（年度内累計）



新規受注ARR：新規受注した案件の「1年間で発生する売上収益（ランニングフィーのみ）の見込額（年換算の受注高）」

Copyright 2023 Payroll Inc. All Rights Reserved | 7

次に、新規受注 ARR でございます。新規受注は前年同期比 48%の増加でございます。稼動 ARR が1 億を超えるような大型案件の受注が下期にありますので、これらが今後下期で重要な案件になってくると見てございます。

新規稼動ARR

新規稼動ARR 3.7億円
前年同期比 +1%

クラウドサービスである新システム
P3の順調なサービス開始と合わせ、
前年第2四半期と同様に大型顧客
の稼動が開始し、当社計画に沿った
進捗

PAYROLL

新規稼動ARR（年度内累計）



新規稼働ARR：新規稼働した案件の「1年間で発生する売上収益（ランニングフィーのみ）の見込額（年換算の稼働高）」

Copyright 2023 Payroll Inc. All Rights Reserved | 8

次に、新規稼動 ARR でございます。クラウド型の P3 というシステムは順調なサービス開始と合わせて、前年第 2 四半期と同様に堅調に稼動しております。当社計画に沿った進捗となっております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

す。P3 はシステムとしての安定性、それから知見を持つ社内人材の定着が進み、安定稼働できる状況にあります。

加えて初期導入にかなり安定化を生んできておりますので、そういう意味で受注前に顧客、お客様の人事業務の導入分析を行う、そして低減して、給与計算業務に特化したコンサルティング業務を行うサービスですとか、初期導入期間中にお客様が行わなければいけない各種の作業を、私どもが人を派遣して、ノウハウある人間を出してサポートするサービスなど、受託範囲を拡大していております。

稼働済ARR・ 受注残ARR推移

稼働済ARR 80.3億円

前年末比 +3.4億円

受注残ARR 5.2億円

前年末比 ▲2.2億円

稼働済+受注残ARR
85.6億円

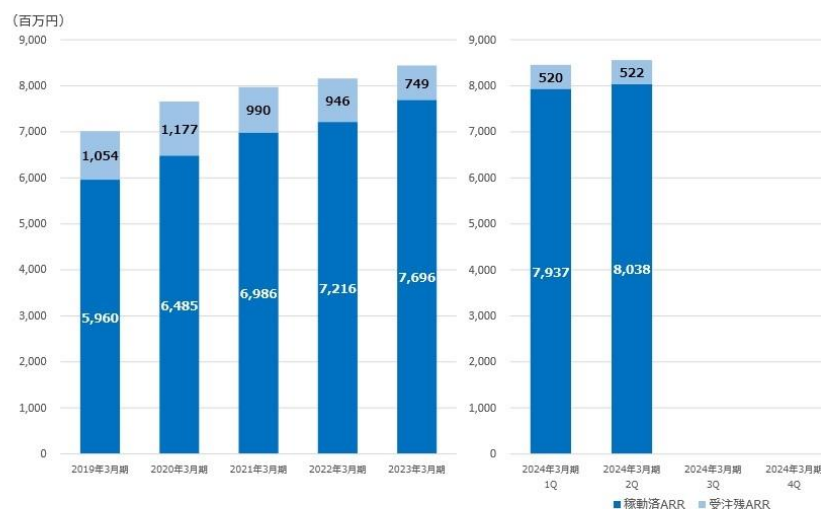
前年末比 +1.1億円

稼働済ARR増加により売上収益が
増加

受注残ARRは第1四半期比で若干
増加だが、下期にSMB企業向け
BPaaSを含めて増加する見通し

PAYROLL

稼働済ARR・受注残ARR推移



・ARR (Annual Recurring Revenue) : 1年間の継続的な取引により計上される売上収益
・稼働済ARR : 稼働済みの案件の1年間の継続的な取引により計上される売上収益
・受注残ARR : 受注済み未稼働の案件の1年間の継続的な取引により計上される売上収益

Copyright 2023 Payroll Inc. All Rights Reserved | 9

次に、稼働済 ARR は前年比で 3.4 億円の増加、受注残 ARR は 2.2 億円の減少になってございます。

全体としては、私どもがもっと確度をつけて新規受注をしたい状況にございますが、先ほども申しましたように、年換算の稼働 ARR が 1 億円を超えるような顧客がこれからの受注になっておりますので、今後受注残も増えていくと想定しております。

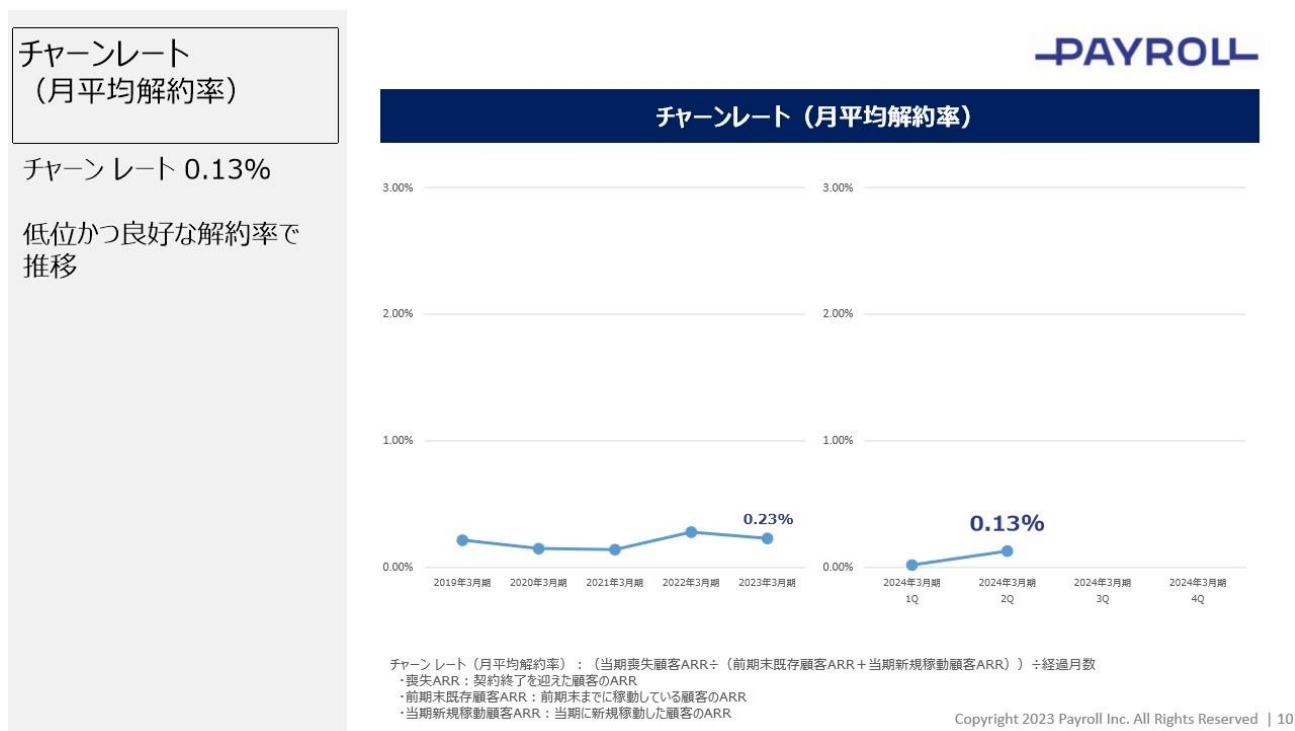
マーケット全体としてはトレンドが落ちているわけではないんですけれども、日本の給与計算のマーケットはほとんどがアウトソーシングしないで、企業内でパッケージソフトを使って、人事が内製処理をやっていることになってございます。この内製処理はいろんな意味で、労働人口が減っているとか、そういうシステムを使って給与計算が分かる社内人材が高齢化しているとかを踏まえて、非常に根本的な問題解決を迫られている状況にあるんです。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

これは事実でございます、多くの企業経営をされている方は、そこにリスクを感じている状況なんですけれども、このコロナ禍で SaaS ベンダーさんがいろんな細かな、給与計算全体ではなくて、給与計算のある部分だけのサービスを提供しておりまして、その導入によってあたかも表面的には一瞬改革がされたみたいなイメージがついている。そこで一瞬踊り場で、少しゆったりしている時期が今、ちょうど去年、今年と続いてきているような状況下にあります。



次に月平均の解約率を示すチャーンレートでございますが、ご覧のように 0.13%で低位かつ良好な解約率で推移しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

売上収益推移

クラウド新システムP3の順調な稼働を中心に、前年同期比（第2四半期累計）で売上収益増加

PAYROLL

売上収益の推移（四半期）



初期導入売上収益：給与計算処理の稼働に向けたイニシャルフィー
 SEP売上収益：旧システム（ASPサービス）による売上収益（ランニングフィー）
 P3売上収益：新システム（クラウドサービス）による売上収益（ランニングフィー）
 年調売上収益：年末調整補助業務による売上収益

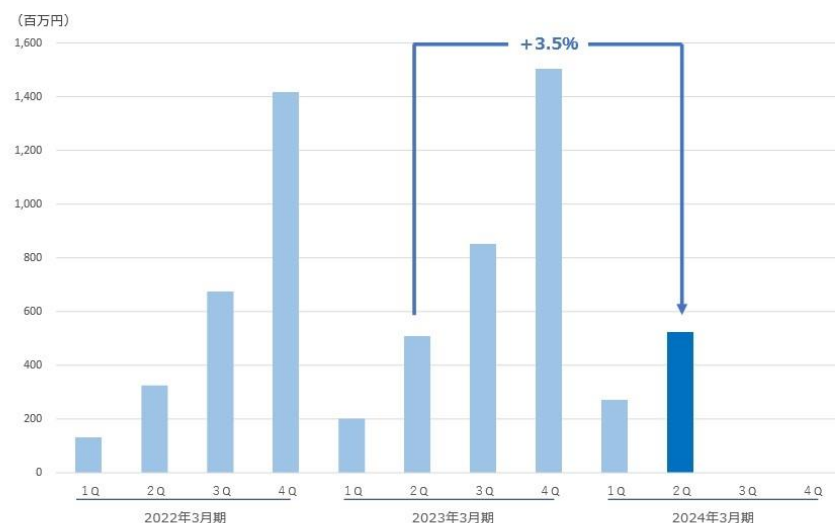
Copyright 2023 Payroll Inc. All Rights Reserved | 11

売上収益の推移でございますが、P3 が順調に稼働しておりまして、新規稼働顧客向けのサービスが稼働していることで、売上収益は前年同期比で増加しております。

営業利益推移

PAYROLL

営業利益の推移（年度内累計）



Copyright 2023 Payroll Inc. All Rights Reserved | 12

営業利益の推移でございます。売上収益の増加に伴って、営業利益も堅調に増加しております。先ほど冒頭で申し上げましたように、下期偏重の傾向があるビジネスでございますので、私どものビ

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

特に今年の年末調整、もう 11 月ですのでだいぶ後半戦に入っておりまして、きわめて安定して業務が遂行されているのと、AI-OCR という AI を今年初めて導入したのですが、かなり有効に効果が出てきております。



今年の4月に、法令で給与のデジタルマネー支払が認められました。余談ですが、ここにも各種資金移動事業者の皆さんが厚労省に申し出て、いまだに1社も認可が下りていないということで、デジタル払がこのままなくなっちゃうんじゃないかとも言われておりますが、私たちが提供しているe-pay sugumoという商品は、毎日働いただけ手数料なしで給与をもらえる仕組みでございます。内容としては給与の支払ではなくて、給与の前払、もしくは貸付でございますので、給与のデジタルマネー支払とは直接関係はございません。

当社が給与計算を行っていることによって、毎日支払可能な限度額を把握できることをベースにしております。当社のお客様じゃなければ利用できないサービスでございますが、来年の春から GMO ペイメントゲートウェイ社と基本合意を締結したとおり、必要なときに必要な分だけ Visa カード等にチャージしていただく、Visa で使っていただくような仕組みの提供が開始されます。

日本	050-5212-7790	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasia.com

オンデマンドペイ 「e-pay sugumo」

PAYROLL

オンデマンドペイ「e-pay sugumo」提供準備（2024年春開始）

給与相当額を“欲しいタイミング”“好きな方法”で
所定の給与支給日より前に受け取れ、利用できる給与前払い

就業者のメリット

 手数料無料	手数料無料で給与前払いショッピング
 手間かからず 利用可能	コンビニカードへのチャージや現金出金

企業のメリット

 採用の強化	採用力強化に貢献
 労働力の維持	福利厚生充実による従業員の離職リスク低減
 運用費無料	システム利用料など運用費が無料

Copyright 2023 Payroll Inc. All Rights Reserved | 15

これらによって、時間で勤務する時給の社員の皆さんは、1日に働いた分を来月の25日じゃないと手元に使えるお金がこない状況じゃなくて、1日に働いたら2日に現金化できて、それを使って生活できる、そういうものになっていく。日本の常識である月1回の給与支払を変えていきたいと、こんな夢を掲げております。

かたや企業側から見ると、今はアルバイトの方たちを集めるのが大変難しい時代になっておりますので、そういう意味では人材確保に有効である、あるいは離職防止につながることで期待いただいております。現在、積極的にセミナーなどを開催しておりますが、非常に高い反応をいただいておりますので、私どものこれからの給与計算、受託のキーになる商品だと考えております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

BPaaS 1.0

PAYROLL

SMB企業にも向けた「BPaaS1.0」展開による事業拡大

エンタープライズのみならずSMB企業へも拡大

既存顧客エンタープライズ企業の子会社（SMB企業）を中心に
サービス展開の営業活動中で、上期で4社からの受託

「BPaaS 1.0」は、顧客の給与計算業務に必要な最低限のベーシックサービスと、必要に応じ導入できるオプションサービスとで構成。給与業務担当者の当面の維持やアウトソーシング導入時の初期負担が緩和でき、顧客の業務効率化と人材配置を柔軟に実現

新規見込み顧客を含む企業に対し、将来的なノンコア業務に対するアウトソーシングの必要性を訴求しており、ビジネスチャンスを見逃さない販売活動を継続していく

エンタープライズ企業：従業員1,000人以上の大規模企業

SMB企業：従業員100～1,000人未満の企業

BPaaS：Business Process as a Serviceの略で、BPOとクラウド、そしてBCPや情報セキュリティを含むインフラを一体提供するサービス

Copyright 2023 Payroll Inc. All Rights Reserved | 16

次に BPaaS、いわゆる SMB マーケットに対するものでございます。BPaaS の特徴は、一時にフルスコープで全てを私どもが担うのではなくて、段階的に導入できるサービスであるのが最も大きな特徴でございます。

フルスコープで全部をお預かりすると、給与計算を担っている企業の人事担当をいきなり削減することが難しい要素が出てまいりますので、第1段階ではシステムだけアウトソーシングしよう、第2段階は周辺業務をアウトソーシングしようということで、進めております。

先ほども申しましたように、上期に受注した4社は現状で特定の給与労務担当者の属人化が進み、リスクを感じている企業が適正に標準化された業務を遂行して、パンデミックや災害発生時に、給与の支払が止まるリスクを排除したいと考えている企業ばかりでございます。

この BPaaS はもう一つ、最終的にはご担当者が急にお休みになったときだけ BPO サービスを頼む、あるいは急に退職者をたくさん募らなきゃいけなくなったので、そのときだけウェブサービスを使うというような、オンデマンド型のサービスを目指しております。そこに向かっていろいろ、これからも機能強化等をしていくことが重要になってくると考えております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

e-pay HR KPI

PAYROLL

人的資本レポート「e-pay HR KPI」サービス

人的資本情報を含めた非財務情報の開示ニーズへの対応

本年8月から有償サービスを開始し、
上期で約80社から受託

ESG投資やSDGsへの関心の高まりから、顧客企業は
当社が管理する人的資本情報や統計情報を「e-pay HR KPI」で
必要としている

当社は、人事労務・給与計算業務におけるBPOサービスおよび
人的資本情報の開示サービスを提供し、人事労務領域をけん引する
企業を目指す

Copyright 2023 Payroll Inc. All Rights Reserved | 17

次に、HR KPI という商品に関してでございます。2023 年の 1 月 23 日に厚生労働省の主催する第 55 回の労働政策審議会、雇用環境・均等分科会において、当社が出しております Pay Gap Report が、先進的な情報公開に取り組んでいる企業等の例として取り上げられております。

当社は人事労務の給与計算業務におけるサービス、および人的資本情報の開示、HR KPI を提供するサービスを主として、人事労務領域をけん引する企業を目指しております。

当社は人的資本の観点においても、先駆けて来年の春 ISO30414 の取得を進めております。そこで自社の運用で経験した必要な人的資本開示の情報を、さらにこの HR KPI というサービスに盛り込んで、受注を進めていきたいと、拡張していきたいと考えております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

2024年3月期通期 業績予想

PAYROLL

2024年3月期 通期業績予想

期初に公表した業績予想から変更なし

(百万円、%)

	2024年3月期 通期		2023年3月期 通期		増減 対前年比	
	予想	%	実績	%	増減額	%
売上収益	9,742	100.0	8,917	100.0	+825	+9.3
売上原価	6,751	69.3	6,254	70.1	+497	+7.9
売上総利益	2,990	30.7	2,662	29.9	+328	+12.3
販管費及び一般管理費	1,365	14.0	1,318	14.8	+47	+3.6
営業利益	1,701	17.5	1,500	16.8	+201	+13.4
税引前利益	1,651	17.0	1,440	16.2	+211	+14.7
当期利益	1,133	11.6	1,016	11.4	+117	+11.5

Copyright 2023 Payroll Inc. All Rights Reserved | 19

次に、通期の業績予想でございます。売上収益の増加に伴って、営業利益も堅調に伸長しており、期初に開示した業績予想を堅持すると考えております。順調に推移しておりますので、この通期を守っていけると考えてございます。

株主還元

PAYROLL

2024年3月期 年間配当金15円（前年比5円増配）

安定的かつ継続的な増配による株主還元を維持

株主の皆様に対して、安定的かつ継続的な増配を実現する形で剰余金の配当を行ってまいります

今期の配当は、前年比で5円増配の年間15円とする予定です

また前期は期末配当のみでしたが、今期は柔軟な株主還元を考慮して中間配当を入れた年2回の配当とします

2024年3月期

中間配当（2023年12月8日 予定） 7.50円

期末配当（2024年 6月上旬 予定） 7.50円

配当性向の推移

2022年3月期 8.2%

2023年3月期 17.6%

2024年3月期 23.6%（予定）

Copyright 2023 Payroll Inc. All Rights Reserved | 21

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

最後に、株主還元についてご説明申し上げます。株主還元は、前年度の配当は期末配当 1 回のみで、年間 10 円でしたが、今期は株主還元柔軟に対応すべく中間配当を入れて、年 2 回の配当として、年間で 5 円増配の 15 円とさせていただく予定でございます。

以上が、早いんですけれども、2024 年第 2 四半期の決算説明でございます。ありがとうございます。

サポート

日本	050-5212-7790	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasia.com



質疑応答

司会 [M]：ご説明、ありがとうございます。それでは、ここから質疑応答を開始したいと思います。まず会場を優先させていただきますので、あらかじめご了承ください。

それでは会場の方、ご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。挙手をお願いいたします。

イマイ [Q]：貴重なお時間をいただきまして、ありがとうございました。東海東京証券のイマイと申します。ご質問につきましては1点でございます。

冒頭ご説明いただいたオンデマンドペイ e-pay sugumo について、もう少し詳しくお話を伺いたいです。2024 年の春頃に開始予定でスケジュールを記載いただいておりますが、こういったかたちで顧客の開拓、営業をしていかれるのか、詳しくお伺いさせていただければと思います。

湯浅 [A]：ありがとうございます。まず e-pay sugumo という商品に関してでございます。来年の春までに今何をやっているかという、私どもが持っているお客様の従業員の皆さんが、私どものウェブサイトから勤務報告をしたり、家族異動とか住所変更を行うウェブサービスを提供しております、この中でどこの口座に給与を振り込むかみたいな申請もでございます。その一部に e-pay sugumo の利用をする申請をしていただく画面を用意して、そこを申請していただくとペイメントゲートウェイ側で Visa の口座をつくったりする、そういうシステムと。

日常の運用の中で、今日5万円先に給与を取りたいときは、私どもがその5万円を受けて、その5万円が払えるかどうかみたいなチェックをして、その結果をペイメントゲートウェイさん側、すなわち Visa さんにつながるかたち。そういったものの開発を今、GMO ペイメントゲートウェイさんと私ども、それぞれで協働しながら開発しています。

今、営業の進め方は、まず私どもの既存のお客様に e-pay sugumo がどういうものなのか、こういったご説明と、導入を募っている営業が1点でございます。

それから私どものお客様ではないお客様に対して、このサービスを使って[音声不明瞭]の採用、あるいは離職防止を進めましょうという営業、セミナーを並行して行っている状況にございます。

イマイ [M]：大変よく分かりました。ありがとうございました。

司会 [M]：そのほか会場の方、質問ございますでしょうか。それではウェブ参加の方、ご質問ありますでしょうか。それでは、テキストの質問を読み上げさせていただきます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

質問者 [Q] : SMB 向けの BPaaS について、サービスを開始して、ニーズあるなしが顧客によってはっきりしていることは分かったのですが、中計で想定していた進捗スピード、顧客母数のイメージに変更はございますかという質問です。

影山 [A] : ご質問ありがとうございます。中計に向けてでございますけれども、中計に関しては基本的にはパートごとというかたちで出させていただいておりますが、[音声不明瞭]に関してはかなり広く売れるだろうという前提でしたので、その部分に関しては現状、今の形態であればそこまで広くは売れないだろうとは思っているものの、中計に至らないもの、SMB に売れていないと、実際上期で 4 社ではありますので、そこに関しては一定、当社のサービスが刺さる市場は存在するだろうというところで、中計を変更するところまでは考えていない状況です。

司会 [M] : ありがとうございます。続きましての質問でございます。全部で 4 問ほどいただいておりますので、一問一答でいかせていただきたいと思います。

質問者 [Q] : まず一つ目、インフレの環境下において給料計算の値上げは検討されないでしょうかというものです。

湯浅 [A] : 私ども、今の状況ですと P3 というクラウド型のシステムで動いているお客様と、それから従来のオンプレミス型、ASP サービス型の SEP という基幹システムで動いているお客様と、二つございます。今まで既に大手のお客様 7 社ほど、SEP という旧来のシステムから新しいクラウドシステムに移行する作業をしております、来年から本格的に大量に移行する段階で、これによってシステムが二重じゃなくなる、オペレーションも二重じゃなくなる効果を生んでいくわけです。

この PX、私ども SEP から P3 にお客様を移行することを PX と呼んでおまして、この PX が終わった後に料金改定を具体的にお客様と話し合いたいと、そんな計画であります。直接直近で今、値上げをしようと計画はしておりません。

質問者 [Q] : ありがとうございます。続きましての質問です。給与計算の新規受注 ARR が若干弱いように見えます。パイプラインを含めた現状を、もう少し詳しく教えてください。また e-pay sugumo の受注、どういう動きになっているのでしょうかという質問です。

湯浅 [A] : ありがとうございます。給与計算の新規受注は若干弱含みではないかというのは、私どももおっしゃるとおりだと思ってございます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



申し上げたいことが二つございまして、まず1点は下期大型案件がいくつも、受注案件でこれは取れるかどうかはこれからの努力になりますけれども、抱えておりますので、通期では新規受注は目標に達するような格好で進められると考えている点が一つでございます。

もう1点は先ほどご説明でも申し上げましたように、日本の給与計算をアウトソーシングする高まりが、一瞬今ちょっと落ち着いている環境にございます。繰り返しになりますが、給与計算を担当していらっしゃる労務担当の方たちの高年齢化とか、システムがレガシー化されたままでEOLが近くにあるとか、こういった問題で、根本的に給与計算業務をどうするのかという問題を抱えている企業が圧倒的に多いわけです。

この部分をSaaSの導入などで一瞬、DX化されて改善されたように見えてしまっているのが、今の状況でございます。結果、根本的な解決はされていないので、いずれもう1回、大きな波がくるのは間違いないんですけれども、今一瞬この波が弱まっているというか、落ち着いている状況が影響しているんだと読んでおります。

質問者 [Q]：ありがとうございます。一つ飛ばさせていただいて、e-pay sugumo の収益へのインパクトの考え方について、もう少し詳しく教えてください。

影山 [A]：ありがとうございます。e-pay sugumo に関してですけれども、現状中計には含んでいない状況になっております。数字の考え方で、あまり具体的な話はそういった意味でできないんですけれども、イメージだけお伝えさせていただきます。

基本的にはさっき説明したとおり給与計算を受け取る前に、例えば1日に働いて5日に1日に働いた分を受け取りたいということであれば、ウェブサービスから1万円という申請をしていただくと、その金額の分使えるかたちになります。

実はこの1万円を申請された時点では当社にキャッシュインはない想定をしまして、実際にそれがカードとして使われたタイミング。なので、1万円の申請をされて、その1万円を従業員の方がどこかのショッピングサイトやお店等で使われたタイミング。ここが売上が立つタイミングだと考えています。

そういったことによって、しっかり従業員の方に申請いただいて、それを日々使っていただく。そうすることによって売上が上がっていくシステムをやろうとしています。

逆にいうと、利用者の方には無償でこれを提供しようとしているので、従業員の方にはかなり利便性の高い、本当に給料を前もって受け取れるという感覚で使っていただけるのではないかなと考え

サポート

日本	050-5212-7790	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com



ています。そういったサービスにしようと思っていますので、基本的には使っていただければ使っていただくほど、当社の売上、利益が増えていくようなサービスにしていこうと考えています。

司会 [M]：ありがとうございます。続きまして、セブン-イレブンについて質問が2件きていますので、ちょっとかぶっているので私のほうでまとめさせていただきます。

質問者 [Q]：セブン-イレブン向けのサービスが開始されたということですが、クルーの35万人を獲得するために何が鍵になるのでしょうか。どこまでサービスが発展するのか、確度や課題は何でしょう。あとはまた発展するとして、時期はどのぐらいの話でしょうか。

湯浅 [A]：まず給与計算は、クルー分の給与計算と正社員分の給与計算は、中身が相当違うものと理解していただきたいです。かつセブン-イレブンさん、私どもほかのコンビニさんもお客様でございますが、フランチャイズのクルーの皆さんの計算もあります。一般の給与計算の姿とは相当違うということで、35万人もいますので、セブン-イレブンさんの意向によって今後どんなスピードで進んでいくか。

私どもとしてはまず正社員で、ちゃんとペイロールはサービス提供できる会社だと、システム的にいろんなものを、セブン-イレブンさんの基幹システムと結合してインターフェースをつくっていただきますが、そういうことができる会社だとお認めいただけたのではないかと。この後この次があるかどうか、具体的に私どもの技術、システム的な技術面の評価とか、コンサルティング能力の評価といったところを経て、どのぐらいの期間かは正直全く申し上げられないのですが、私どもとしてはぜひやりたいビジネスでございますので、頑張ってお営業していくと。このような状態だとご理解いただければと思います。

司会 [M]：ご質問、およびご回答ありがとうございました。続きましての質問でございます。こちらでもテキストでいただいております。

質問者 [Q]：PXは、いつ終わりますか。

湯浅 [A]：私どもが出している中計が来年度まででございますが、来年度以降のさらに中期経営計画を発表することが来期起きるわけですが、次の中計の間ぐらいにはおおむね終了のめどが立っている状態をイメージしております。

司会 [M]：ご質問、およびご回答ありがとうございました。それでは、以上をもちまして質疑応答を終了とさせていただきます。

なお今後の問合せにつきましては、経営管理部のスズキ様までお願いいたします。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



以上をもちまして、株式会社ペイロール、2024 年 3 月期第 2 四半期決算説明会を終了といたします。最後までご参加いただき、誠にありがとうございました。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載
2. 会話は[Q]は質問、[A]は回答、[M]はそのどちらでもない場合を示す

サポート

日本	050-5212-7790	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、SCRIPTS Asia 株式会社（以下、「当社」という）は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用をしてはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて利用者の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して利用者が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com